

あの日から5年、3.11の夕べ

昨年6月、『原発労働者』（講談社新書）を著した寺尾紗穂さん（34）は、実はシンガーソングライター。すでに7つのアルバムを出し、ユニクロのテレビCMでピアノも弾いています。この本に込めた脱原発への思いを語り、歌ってもらいます。

『原発労働者』の著者 寺尾紗穂さんの ピアノ弾き語り



「被災者の現在」を池田香代子さんが 訊き、交流するトーク

「世界がもし100人の村だったら」の池田香代子さんは、福島にとどまる人にも、避難する人にも、戻ってくる人にも、温かい眼差しを向けてきました。5年目を迎えた福島はどうなっているのか、被災者は何を考えているのか、語り合しましょう。

トークに参加する人

伊藤達也（浜通り医療生協病院理事長）

渡辺博之（いわき市議会議員）

安倍節子（主婦・いわき市在住）

金井直子（楢葉町在住）



日時：2016年3月11日午後6時～（開場は午後5時30分）

場所：アリオス小音楽ホール（参加費：無料）

主催：「あの日から5年、3.11の夕べ」実行委員会（協賛：原発事故の完全賠償をさせる会、元の生活を返せ・原発事故被害いわき訴訟原告団、ふるさとをかえせ・福島原発避難者訴訟原告団、株式会社たびせん・つなぐ、株式会社かもがわ出版）